

## 評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成19年11月7日

事業所番号	2773801291	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	医療法人 健泉会	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103
事業所名	医療法人 健泉会 グループホーム 西松庵	評価調査日	平成 19 年 10 月 30 日
所在地	大阪府羽曳野市高鷲7丁目82番 (電話) 072-953-1511	評価確定日	平成 19 年 11 月 8 日

【情報提供票より】 (平成 19年10月1日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成18年1月1日
ユニット数	ユニット 2 利用定員数 18人
職員数	29人 常勤 11人 非常勤 18人 常勤換算 10.0人

## (2) 建物概要

建物の構造	鉄骨 造り 2階建ての(1階～2階部分)
-------	-------------------------

## (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	50,000円	その他の経費 (月額 70,000円)	
敷金	有 (260,000円)		
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 (240,000円)	償却期間 2年	有の場合 有 償却の有無
食材料費	朝食	200円	昼食 600円
	夕食	300円	おやつ 100円
	または1日当たり		1200円

## (4) 利用者の概要 (10月1日現在)

利用者人数	18名	男性	1名	女性	17名
要介護1	0名	要介護2	6名		
要介護3	11名	要介護4	0名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢平均	88.4才	最低	77才	最高	96才

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	しまだ耳鼻咽喉科 森クリニック・船内クリニック・芝池歯科医院
---------	-----------------------------------

## 【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

玄関側は静かな住宅街に面しており、裏側は田園地帯で長閑な風景となっている。ホームの裏側はやや広い芝生の庭になって植木や草花で楽しめる。開設以来の勤続している介護職員が多く安定した介護で、入居者の皆さんは笑顔でゆったりとした雰囲気を楽しんでおられる。職員はこのホームでの勤務に喜びと誇りを持って当たっている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	個別のケアプランは、ご家族、職員からの見聞を基に記録され3～6月に拘らず合議によって変更実施されている。利用者の出来ることの発見に努め、日常生活に活かすよう配慮されている。ドアの電子ロックは訪問者等の出入りがあり、職員の注意にも限界があり、今後の検討課題となった。職員の研修は十分配慮されて実施されている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	前回の評価以来、話し合いで改善に取り組んで来ており、今回の評価についても、職員間で合議の上、作成されている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4、5、6)
	昨年の9月以来この一年間で7回開催されたが、議事の半分は当ホームの活動報告と予定、後半は市役所関係の報告連絡や要望事項、等について話し合いが行われている。地域の老人会等へ介護知識啓発へ、職員講師の派遣等も議題となっている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7、8)
	家族アンケートでは苦情、不満等はないが、日常生活の中での聴き取りでご家族や本人のやりたいこと、嫌いなことを伺って介護の参考としている。羽曳野市の介護相談員による利用者との相談が月1回実施されている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	昨年から引き続きボランティアのご協力により 音楽療法、書道、陶芸、手芸、朗読、舞踊ピアノ、三味線等、多彩な講座が実施されている。

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>					
<b>1 理念と共有</b>					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の方々に施設の行事に参加して頂いたり、利用者の散歩の際には挨拶を交わしたりするようにしている。ホームも一人一人として自治会に参加している。	○	
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人理念の展開に職員は努力を積み重ねている。	○	企業理念を活かすように、利用者、ご家族、職員向けに分かりやすい、介護の目標（方針）を設定してください。
<b>2 地域との支えあい</b>					
	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	自治会に一員として参加している。運営推進会議によって出席者との交流も徐々に深めている。		
<b>3 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の実施のために自己評価を組織として取り組み、具体的な反省と今後の検討を行っている。		
	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	平成18年9月に第1回の会議をはじめ今年10月までに7回行った。ホームでの介護の様子については理解を深めていただいている。地域へ職員が出向いて介護についての講習を予定している。		
	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	担当職員は市役所の担当職員との面談を適宜行って、介護の参考として活かしている。		
<b>4 理念を実践するための体制</b>					
	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	健康状態や金銭管理等の報告は文書、電話等で行われている。		
	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を原則として2ヶ月毎に開催して、ご家族の意見を汲んだ運営が行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9 18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	現在までのところ職員の入退職は殆どないので、馴染みの職員による介護ができています。		

### 5 人材の育成と支援

	10 19	○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修を効率よく実施するために研修担当者を決めて実施している。		
	11 20	○ 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている	羽曳野市のグループホームの交流会議が設けられて参加している。		

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

### 1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12 26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	新しく入居される方について、ホームの生活時間帯には、急がずに徐々に慣れて頂くように配慮している。		
--	-------	--	--	--	--

### 2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13 27	○ 本人と共に過ごし、支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	簡単な片付け、食事の手伝い等を職員の見守りで一緒に行いながら、慣れていただけるように配慮している。		
--	-------	---	---	--	--

## III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

### 1 一人ひとりの把握

	14 33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	散歩や入浴時などの1対1でかかわる機会に、本人の希望などを聞き取るようにしている。また、普段の表情にも注意をしている。		
--	-------	---	---	--	--

### 2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15 36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的に職員の話し合いで、お一人ずつの生活の様子のお話し合いをして要望の把握をしている。時にはご本人、家族や医師の意見等も参考として計画作りを行っている。		
--	-------	--	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	(すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	3～6ヶ月毎に拘わらず計画の見直しを実施してをり、状況によって計画の変更を行っている。		

### 3 多機能性を活かした柔軟な支援

17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご希望のある方には、併設のデイサービスに参加して、楽しんでいただいている。		
----	----	---	---------------------------------------	--	--

### 4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	ご希望によって、入所以前の掛かり付けの医師への受診の援助を実施している。		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	このような症状の方は現在では居られないが、今後の検討課題としている。		

## IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 1 その人らしい暮らしの支援

#### (1) 一人ひとりの尊重

20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	言葉かけについては内部研修を折に触れ実施している。記録等については改善を検討している。		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の勤務時間の関係も配慮しながら希望に対処している。		

#### (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューづくりや、食事準備も職員と一緒にやってもらっている。また、食事は職員も一緒に頂いている。		
----	----	---	--	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○ 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回入浴していただいている。入浴を楽しみとしている方が多い。		

## (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

24	59	○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	併設のデイサービスでの稽古ごとや趣味の各種の手芸類、ホームでの洗濯物の片づけ手伝い等に適宜参加して喜んでいただいている。		
25	61	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している	施設の庭での気晴らし、近所の図書館等への外出など、適宜に支援している。		

## (4) 安心と安全を支える支援

26	66	○ 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は来訪者の繁閑もあって難しい面もあるが、利用者の気持ちを察して解放への検討は続けて行っている。		
27	71	○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時の緊急避難の訓練ができていないので早急に実施予定となっている。	○	消防署と連携で実施してください。自治会の役員様とも交流を深めてください。

## (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

28	77	○ 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は体調に応じた摂取カロリーのメニューとしている。水分摂取については、一人ひとりの排泄量にも注意をしている。		
----	----	--	---	--	--

## 2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

## (1) 居心地のよい環境づくり

29	81	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	新築の施設でもあり、また日常の行き届いた管理もあって居心地よく過ごしておられる。庭に咲いた花を活けて季節感を持たせている。		
30	83	○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には各自が自由に家具を持ち込んで居心地を楽しんでいる。室内は自然の風を楽しめる環境を活かして調節している。		